

## 文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

毎月第4金曜日の夜にサイエンスカフェを定期開催しています。  
平成23年度・第3回を、次のとおり開催いたしますので、テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。

日 時	平成23年6月24日（金） 19:00～20:30
場 所	文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
主 催	日本学術会議、文部科学省
講 師	経塚 淳子（東京大学大学院農学系研究科 准教授）
ファシリテータ	渡辺 政隆（日本学術会議連携会員、JSTエキスパート）
テーマ	「百花繚乱のなぞ ～花の見かけは遺伝子で決まる～」
定 員	30名
参加費	無 料



街角などで花を見かけると、思わず心が和みます。

でも考えてみると不思議です。花の色や形は、なぜあんなに多様で美しいのでしょうか。ただ、よく見るとそこにはなんとなく規則性もあるような……。そうした違いや共通性は何が決めているのでしょうか。

じつは、花の形はすべて遺伝子によって決まっています。高校の教科書にも出ているABCモデルと呼ばれる基本原理によって決まっています。その原理は、単純な形の花から複雑な形をした蘭の花まで、すべての植物に共通しています。シンプルな基本型から、無限にも近い多様な形が進化したのです。まるで自然は、1つの主旋律にちょっとした変奏を加えることで多様なメロディーを奏でているかのようです。この仕組みを利用すれば、八重咲きなどの美しい園芸品種を作り出すことも可能です。

さまざまな花を思い浮かべながら、進化が生み出した多様性と、それを可能にした単純な仕組みのすごさについて、一夜思いを馳せてみませんか。